

提出していただいた意見とそれに対する市の考え

< 豊明市第5期高齢者福祉計画・介護保険事業計画 >

NO.	意見等の概要	件数	豊明市の考え・対応
1	<p>就労機会の拡大(P44)</p> <p>現在、我が国においては、60歳定年の見直しの議論がなされているところである。また、税収も戦後のベビーブーム時代の現役が定年を迎えているなかで激減している。この様な中で、高齢者においては生き甲斐としての仕事が重要であり、健康で働くことにより介護が減少すると考える。そのためには、働くことで介護費用が縮減され、就労のために公費を使うことが必要である。このような中で、今回の計画においては、「施策の方向 就労機会の拡大」が示されている。</p> <p>この就労の拡大のため、現在、豊明市が実施している外部発注委託業務の一部について高齢者を対象としたシルバーワークプラザへのワークシェアリングとして委託するなどの検討が出来ないか。</p>		<p>シルバー人材センターで、市の事業のワークシェアを図るため、文章内に「また、高齢者の労働力を活用するため、シルバー人材センターへの事業委託を推進し、雇用の拡大に努めます。」を追加します。</p>
2	<p>総合的な実施体制(P60)</p> <p>「施策の方向」においては、地域の見守りネットワークなどの活性化を側面的に支援しますとしているが、介護費用は各市町村で負担額が異なり、豊明市が積極的に対策を講ずることで給付費の減少に繋がると思う。そのためには、豊明市が積極的の施策を推進する必要がある。計画書においては、豊明市が主体となって実施するとか支援するなどの表現が出来ないか。</p>		<p>文章内の標記を「側面的」から「積極的」に変更します。</p>
3	<p>特別養護老人ホームの待機者数の増加が問題視される中、待機者の受け皿となることが期待される特定施設入居者生活介護について、積極的な整備をお願いしたい。</p>		<p>施設整備については、既にグループホーム2ユニット(18床)及び特別養護老人ホーム50床の増築を決定し、整備を進めています。</p> <p>特定施設等については、今後の待機者状況を見ながら検討をしていきます。</p>

4 P33の高齢者数・高齢化率の高い地域(栄町)について、特に施設を整備するべきではないだろうか。栄町には既に特別養護老人ホームがあるが、種類充実のために有料老人ホームを増やしていただきたい。

施設整備は地域の環境条件に大きく影響を受けます。例えば、建設しようとする土地の規模や形状、地価等さらに地域住民の意向が組み合わされ整備されます。しかしながら、高齢者へのサービス充実という面から様々なサービス整備を検討していきたいと考えています。